

令和4年度 熊本市子ども会育成協議会 総会

3 来賓祝辞 熊本市長 大西一史 様 代読 熊本市文化市民局長 横田健一 様



皆さんこんにちは、文化市民局長の横田と申します。本日はこの市子協と関係の深い大西一史市長がご案内頂いたのですが、どうしても公務のため市長が出席が叶いませんでしたので、市長からご祝辞を預かっていますので代読させていただきますとおもいます。その前に私の方から、まずは総会がこの様に行われますことを心よりお喜び申し上げますとともに、会長、事務局の皆さんのご苦勞があったのではなからうかと思ひます。本当にありがとうございます。

今私は文化市民局長という立場でいますが、私の所管に熊本城があります。今熊本城天守閣が去年の6月から公開されました。ご覧になった方おられますか。天守閣の展示が一掃され、非常に充実した内容になっておりますので、是非、皆様方お子様方と一緒にまたは子ども会活動、他を通じて、熊本城に足を運んで頂けたらと思ひます。小学生中学生は無料でございますので是非足を運んで頂けたらというふうに思ひます。

では、市長のメッセージを代読させていただきます。

(令和四年度 熊本市子ども会育成協議会総会 市長挨拶)

令和四年度 熊本市子ども会育成協議会の総会開催にあたりまして、一言、ご挨拶を申し上げます。

山本会長をはじめ、役員ならびに会員の皆様方におかれましては、日頃から子ども会活動に献身的な取り組みをいただいておりますことに、心から敬意を表しますとともに、深く感謝を申し上げます。

少子高齢化や情報化の進展、経済格差の拡大など近年の社会環境は著しく変容しており、子どもたちを取り巻く環境につきましても、いじめや非行、インターネットを通じたトラブルなど多くの課題を抱えております。

このような中、貴協議会におかれましては、子ども会大会や育成者講習会の開催など、子ども会活動の振興・充実に向けた活動をされており、これらは地域で、そして子ども達自らの体験を通して子どもたちの「生きぬく力」を育み、次代を担う子どもたちを守り、育てる上で、今後ますます重要なものになっていくものと存じます。

本市は政令指定都市移行から十年目を迎えました。区制移行により、より地域に密着した行政を目指してきたところであり、現在も市内十七箇所のまちづくりセンターを中心に行政情報の提供・地域活動の支援をしているところであります。また、小学校ではすべての児童にタブレット端末を配布し、先駆的なICT教育への取組も実施しているところであります。

また、新型コロナウイルス感染症のまん延が2年間を超えて継続しており、私たちの中にも新しい生活様式が確立してきていることから、本市ではこの2年間に開催できずにいた行事を新たな形で再開し、ウィズコロナに対応した「上質な生活都市」の実現にむけて取り組んで参りたいとかがえております。

皆様方におかれましても、子どもたちの自主的な活動への支援に加え、子どもを見守る大人への支援者や、子どもたちが安心していきいきと過ごせる環境づくりの地域の良き支援者として、今後もお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、熊本市子ども会育成協議会の今後益々のご発展と、本日お集まりの皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます、ご挨拶といたします。

令和四年六月五日 熊本市長 大西 一史

代読 本日はおめでとうございます。